

POTA「作業療法士の働き方、現状と今後」に関するアンケート結果

<回答者数> 大会時、37 郵送、13 計50名

<作業療法士経験年数>

1～5年、20名 6年以上、8名 10年以上、14名  
20年以上、4名、 不明、 4名

<現在の勤務内容>

1) 精神科作業療法 27  
2) 療養病棟勤務 2  
3) 認知症病棟勤務 1  
4) DC (D、NC) 11  
5) 教育・研究 6  
6) その他

<雇用形態>

常勤25、未記入2  
常勤 2  
常勤 1  
常勤 9、パート1、未記入1  
常勤 6  
常勤 1  
常勤 1  
リワーク勤務中 1

・訪問看護ステーション 1  
・急性期身障系総合病院 1  
・グループホーム 1

<病院内で現在の業務へ異動された方の、異動内容と、異動の理由>

- ・精神療養病棟→認知症病棟、ケア充実のため
- ・精神療養病棟→デイケア、不明
- ・精神科作業療法→デイケア、順番(?)
- ・精神科作業療法→デイケア、スタッフの退職補充2
- ・精神科作業療法→デイケア、責任者の退職
- ・精神科作業療法→デイナイトケア、部門の立ち上げ
- ・精神科作業療法→デイケア、部門の開設・地域に興味
- ・精神科作業療法→デイケア、定期的な人事異動(公立病院)
- ・デイケア→精神科作業療法、定期的な人事異動(公立病院)

\*精神科作業療法からデイケア勤務への異動傾向がみられる

<転職により、現在の業務に従事している方の異動内容と、転職の理由>

- ・日本語教師 →精神科作業療法、人間の追及
- ・国際会議の運営→精神科作業療法、世の中のニーズと自分の興味が合ったため
- ・老健 →精神科作業療法、リストラ
- ・身障系 →精神科作業療法、誘われて
- ・民間で発達・高齢期→精神科作業療法
- ・精神科作業療法→デイケア 契約期間満了により興味が合ったデイケアへ
- ・精神科作業療法→訪問看護ステーション、地域生活や地域の中のOTの役割を学ぶ
- ・精神科作業療法→教育・研修、縁故
- ・精神科作業療法→教育・研修、結婚に伴う引っ越し・興味
- ・授産施設 →教育・研修
- ・OT・認知症 →教育・研修、臨床を離れ自分の行っていた作業療法を考え直すため
- ・OT・DC →教育・研修、希望して

- ・ O T ・ D C →教育・研修  
大学で学んだことを現場で経験してみたい・生活の拠点が変わった  
家族を中心とした生活様式の中で可能な職場（業務内容）を選択
- ・ D C（N C） →グループホーム

\*精神科作業療法への転職は、転職前の業務が精神科関係以外の他業種や他分野の方

\*精神科作業療法やデイケアからの転職は、教育・研修が多い

\* " "、地域へは少ない

<将来について>（ ）は、経験年数

1) 現在の業務を続ける 19名

(1～5年、6名 6年以上、3名 10年以上、6名 20年以上、3名 不明、1名)

2) 現在の施設で他の業務を行いたい 7名

- ・ デイケア (15年)
- ・ 認知症病棟 (1年)
- ・ 訪問 3名 (7年、12年、不明)
- ・ 病棟担当業務 (6年)  
→現在、主に外来者担当、今後、作業療法全体の運営に生かしたいため
- ・ 看護助手 (2年)  
→O Tとして戻れる場がないため

3) 転職したい 8名

- ・ 地域に関する仕事 (2年)
- ・ 地域生活支援事業所 (7年)
- ・ 認知症グループホーム o r 特養 (15年)
- ・ 刑務所  
→ある意味、制限が厳しく管理徹底されている中で、普遍的で特殊性がなかなか感じられない作業を通すところで、幅広い可能性を信じて働きたい
- ・ 身障分野 (3年)  
→いずれ地域で働きたいため、身障分野の知識も必要と思うため
- ・ 出版関係 (5年)
- ・ 公務員 (4年)
- ・ 実家に戻って、(引き続き) 精神科医療 (4年)

4) 起業、その他 6名

- ・ 認知症グループホームの起業 (12年)
- ・ 事業所経営 (地域の中でできることを実現したい) (21年)
- ・ 小規模多機能 o r グループホーム (4年)
- ・ 退職したい (17年)
- ・ 未定 2名 (3年、6年)

5) 未回答 10名

(1～5年、4名 6年以上、1名 10年以上、3名 20年以上、0名 不明、2名)